

1-3 ひとくちに「自動運転」というものの・・・

自動車の自動運転には、人と機械の共同作業のようなもの、機械がすべての制御を行うものの機械の手にあまる事態が発生したときは人に運転を交代してもらうもの、そして、人はタクシーの乗客のように振舞っていてよいものなど、さまざまな形態があります。それを一般には「自動運転レベル」と称していますが、その定義についても、さまざまな流儀があります。自動運転編では、歴史的な順序にしたがい、まずは第2章において米国運輸省道路交通安全局（NHTSA: National Highway Traffic Safety Administration）が2013年に公表した自動運転の分類ならびに定義を見てみましょう。そして第3章において、米国自動車技術者協会（SAE: Society of Automotive Engineers）が2014年に公表したJ3016が提案する自動運転の分類ならびに定義を見ていきます。さらに、第4章において、2014年版J3016の改訂版として発表された2016年版J3016は提唱し、いまや国際的共通語としての地位を確保している自動運転の分類ならびに定義が、2014年版J3016におけるそれらに比べて、どこがどのように異なっているのかに焦点を絞って詳しく見ていくことにしましょう。第5章では、SAEがレベル3と呼ぶ自動運転のなかで重要な役割を果たす「自動運転システムがドライバーに対して発する運転交代要請（RTI: request to intervene）」がどのような視点に基づいてデザインするひつようがあるかを考察してみましょう。その議論のなかで、実は、SAE J3016の2016年版が提唱している自動運転の分類ならびに定義には不備／欠陥があることを示したいと思います。